

酸化エチレン処理技術分野の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成16年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ(WG)開催経緯等

「VOC処理技術WG」において、本年度から対象技術分野となったVOC処理技術分野(ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術)と併せて検討することとした。

(酸化エチレン処理技術関係)

16年5月19日	平成16年度第1回WG開催
6月9日	実証試験要領(第2版)の公表
6月9日～6月23日	実証機関の募集
6月30日	平成16年度第2回WG開催
7月12日	実証機関選定の公表

(WG検討員名簿は資料1-1-2参照)

(2) 実証試験要領策定にあたっての特記事項

実証試験要領第2版策定の改訂のポイント

- ・ 酸化エチレン濃度、流量等の測定方法の変更。
- ・ 騒音の測定データを参考値扱いへ変更。
- ・ 実証申請書の改訂
- ・ 実証試験結果報告書概要フォームを暫定版として改訂。

(3) 実証機関選定

実証機関：東京都

中核となる地方環境研究所名：東京都

実証対象技術募集予定数：6技術

2. 今後の予定

実証機関において実証対象技術の募集・選定、実証試験計画の策定及び実証試験の実施。

平成17年3月末までに、実証試験結果報告書を検討するWG、今後の方針を検討するWGを適宜開催。

平成16年度環境技術実証モデル事業検討会
VOC処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

- 岩崎 好陽 東京都環境科学研究所 参事研究員
- 小淵 存 (独)産業技術総合研究所環境管理研究部門 浄化触媒
研究グループ長
- 加藤征太郎 中央大学理工学部 講師
- 坂本 和彦 埼玉大学大学院理工学研究科 教授
- 志賀 孝作 東京都鍍金工業組合 環境科学研究所 所長
- 土井 潤一 日本産業洗浄協議会 理事
- 中杉 修身 横浜国立大学共同研究推進センター 客員教授
- 山川 洋平 武蔵野赤十字病院 事務部長(元 東京都衛生局
薬務部長)

小規模事業場向け有機性排水処理技術分野の 進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 16 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ (WG) 開催経緯等

16年	4月19日	第1回WG開催
	4月28日	実証試験要領の公表
	4月28日～5月20日	実証機関の募集
	6月1日	第2回WG開催
	6月8日	実証機関選定の公表
	6月24日～	各実証機関において実証対象技術の募集

(WG 検討員名簿は資料 1-2-2 参照)

(2) 実証対象技術の募集及び選定

実証機関：福島県

中核となる地方環境研究所名：福島県環境センター
実証対象技術募集予定数：1 技術
募集期間：平成 16 年 7 月 13 日 (火) ～ 8 月 6 日 (金)

実証機関：埼玉県

中核となる地方環境研究所名：埼玉県環境科学国際センター
実証対象技術募集予定数：2 技術
募集期間：平成 16 年 6 月 28 日 (月) ～ 7 月 9 日 (金)
埼玉県の技術実証委員会を 7 月 21 日 (水) に開催し、実証対象技術の選定を行い、
環境省に承認申請

実証機関：大阪府

中核となる地方環境研究所名：大阪府環境情報センター
実証対象技術募集予定数：2 技術
募集期間：平成 16 年 7 月 5 日 (月) ～ 7 月 29 日 (木)
大阪府の技術実証委員会を 8 月 4 日 (水) に開催し、実証対象技術の選定を行い、

環境省に承認申請

実証機関：広島県

中核となる地方環境研究所名：広島県保健環境センター

実証対象技術募集予定数：3技術

募集期間：平成16年6月24日(木)～7月7日(水)

広島県の技術実証委員会を7月20日(火)に開催し、実証対象技術の選定を行い、環境省に承認申請

実証機関：香川県

中核となる地方環境研究所名：香川県環境保健研究センター

実証対象技術募集予定数：2技術

募集期間：平成16年6月28日(月)～7月12日(月)

香川県の技術実証委員会を8月5日(木)に開催し、実証対象技術の選定を行い、環境省に承認申請

2. 今後の予定

各実証機関において実証対象技術の選定を行い、環境省が承認を行う予定

各実証機関において実証試験計画を策定

各実証機関において実証試験を実施

平成17年3月上旬には、試験結果をまとめる第3回WGの開催予定

平成17年3月末には、今後の方針をまとめた第4回WGの開催予定

平成16年度環境技術実証モデル事業検討会
有機性排水処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

- 座長 藤田正憲 大阪大学大学院工学研究科 教授
- 岡田光正 広島大学大学院工学研究科長 教授
- 中井尚 (社)日本フードサービス協会 業務部長
- 名取眞 (社)日本産業機械工業会 国際環境技術協力センター 顧問
- 廣田静志 大阪府環境情報センター 企画総務室 環境技術支援課長

山岳トイレ技術分野の 進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 16 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ (WG) 開催状況等

16年6月21日～7月2日	実証対象技術の募集
7月15日	実証対象技術の選定の公表(静岡県、神奈川県、山のECHO)
7月28日	平成16年度第1回WG開催
7月30日	実証対象技術の選定の公表(長野県)

(WG検討員名簿は資料1-3-2参照)

(2) 実証試験要領策定にあたっての特記事項

16年6月2日 第2版公表

(3) 実証機関選定等

平成16年度における実証機関・実証対象技術は次のとおり。

長野県

実証対象技術：9技術の応募があり1技術を選定

- ・ 生物(好気性)・土壌処理方式

(開発者：第一公害プラント株)

静岡県

実証対象技術：2技術の応募があり1技術を選定

- ・ 生物処理方式(かき殻を利用した浄化循環式トイレ)

(開発者：有山城器材)

神奈川県

実証対象技術：1技術の応募があり1技術を選定

- ・ 土壌処理方式

(開発者：株リンフォース)

NPO法人 山のECHO

実証対象技術：5技術の応募があり1技術を選定

- ・ 物理化学処理方式

(開発者：株オリエント・エコロジー)

富山県(平成 15 年度に引き続き)

- ・ 土壌処理方式
(開発者：(株)リンフォース)
- ・ コンポスト処理方式
(開発者：(株)タカハシキカン)

2. 今後の予定

各実証機関にて、実証試験計画の策定及び実証試験を実施。

平成 16 年 8 月 31 日第 2 回WG を静岡県にて開催予定。(実証状況確認含む)

平成 16 年 9 月 10 日第 3 回WG を長野県にて開催予定。(実証状況確認含む)

平成 16 年 10 月 19 日第 4 回WG を栃木県にて開催予定。(実証状況確認含む)

平成 17 年 1 月～ 2 月第 5 回WG を東京にて開催予定。

平成 1 6 年度環境技術実証モデル事業検討会
山岳トイレし尿処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

- 柏原 一正 (有)鹿島槍観光開発(冷池山荘、種池山荘、新越乗越山荘)
桜井 敏郎 三井造船(株) 環境・プラント事業本部長付
鈴木 富雄 長野県環境保全研究所主任研究員
船水 尚行 北海道大学大学院工学研究科教授
森 武昭 神奈川工科大学電気電子工学科教授 <座長>
吉田 孝男 N P O 環境資源保全研究会代表
渡辺 孝雄 (財)日本環境整備教育センター調査研究部統括研究員

(50音順、敬称略)

<化学物質に関する簡易モニタリング技術分野> の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成16年度の進捗状況

「化学物質に関する簡易モニタリング技術実証試験要領(案)」について5月24日から6月4日までの間、意見募集を行い、7件の御意見を頂いたところである。これらの御意見を踏まえ、「化学物質に関する簡易モニタリング技術実証試験要領(最終案)」を現在策定中。

2. 今後の予定

(1) ワーキンググループ(WG)開催

平成16年8月下旬に平成16年度第1回WGを開催し、「化学物質に関する簡易モニタリング技術実証試験要領」をとりまとめる予定。

(WG検討員名簿は資料1-4-2参照)

(2) 実証機関の選定

とりまとめられた「化学物質に関する簡易モニタリング技術実証試験要領」を基に、実証機関を9月中旬を目途に公募する予定。

平成16年度環境技術実証モデル事業検討会
化学物質に関する簡易モニタリング技術ワーキンググループ
検討員名簿

有菌 幸司	熊本県立大学環境共生学部 教授
門上希和夫	北九州市環境科学研究所 アクア研究センター 課長
鑪迫 典久	独立行政法人国立環境研究所 主任研究員
中澤 裕之	星薬科大学薬品分析化学教室 教授
西村 哲治	国立医薬品食品衛生研究所 室長
福嶋 実	大阪市立環境科学研究所 研究副主幹

ヒートアイランド対策技術分野（空冷室外機から発生する顕熱抑制技術） の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 16 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

16年 3月24日	実証試験要領の公表
3月24日～4月21日	実証機関の募集
5月12日	第1回WG開催
5月18日	実証機関選定の公表
6月1日～6月24日	実証機関において実証対象技術の募集
7月13日	実証対象技術選定の公表

（WG検討員名簿は資料 1-5-2 参照）

(2) 実証試験要領策定にあたっての特記事項

3月24日に公表。

(3) 実証機関選定

実証機関：大阪府

中核となる地方環境研究所名：大阪府環境情報センター

大阪府の技術実証委員会を7月2日(金)に開催し、実証対象技術の選定を行い、環境省により承認された。

実証対象技術数：4技術

2. 今後の予定

実証機関において実証試験の実施。

平成 17 年 1 月頃、実証試験結果報告書を検討する第 3 回WGを開催予定。

平成16年度環境技術実証モデル事業検討会
ヒートアイランド対策技術ワーキンググループ 検討員名簿

足永 靖信 独立行政法人 建築研究所環境研究グループ 上席研究員

木内 俊明 国土館大学工学部 教授

佐土原 聡 横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授

下田 吉之 大阪大学大学院工学系研究科 助教授

内藤 昇 大阪府環境農林水産部循環型社会推進室 環境管理課長

森川 泰成 大成建設株式会社建築技術研究所

ニューフロンティア技術開発室 室長

VOC 処理技術分野（ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術） の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 16 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

「VOC 処理技術WG」において、昨年度から引き続き対象技術分野となった酸化エチレン処理技術分野と併せて検討することとした。

（ジクロロメタン等処理技術関係）

16年6月30日	平成16年度第2回WG開催
8月3日	平成16年度第3回WG開催

（WG検討員名簿は資料 1-1-2 参照）

(2) 実証試験要領策定にあたっての特記事項

8月3日開催の第3回VOC 処理技術WGにおいて、実証試験要領(第1次案)を検討。

WGにおける検討結果を踏まえて第2次案を作成し、パブリックコメントを実施予定。

(3) 実証機関選定

今後、選定予定。

2. 今後の予定

実証試験要領の策定後、ジクロロメタン等処理技術分野の実証機関の募集を開始。

（9月下旬頃）

その後、実証機関において実証対象技術の募集・選定、実証試験計画の策定及び実証試験の実施。

その後、実証試験結果報告書を検討するWGを開催。

非金属元素排水処理技術分野（ほう素等排水処理技術） の進捗状況及び今後の予定について

1. 平成16年度の進捗状況

平成16年6月24日に行われた平成16年度第1回環境技術実証モデル事業検討会において「非金属元素排水処理技術分野（ほう素等排水処理技術）」を平成16年度の実証試験の対象技術分野として追加することを承認されたところ。

- (1) 実証試験要領策定にあたっての特記事項
今後、策定予定。
- (2) 実証機関選定
今後、選定予定。

2. 今後の予定

ワーキンググループ（WG）開催予定等

平成16年 8月 下旬目処

第1回WG開催予定

実証試験要領の策定後、実証機関の募集を開始予定（10月中旬頃）

その後、実証機関において実証対象技術の選定、実証試験計画の策定及び実証試験の実施